

第16回知識構造化シンポジウム 「全社的な知識運用による 品質と安全への取り組み」

ライブ配信
開催

2024
9/20(金)
13:30-17:00

開催形態：ライブ配信

参加費：4,950円（税込／一般・会員ともに）

◆特典つき！詳細は裏面に◆

主催：一般財団法人日本科学技術連盟

後援団体：（順不同）

一般財団法人日本規格協会、一般社団法人日本自動車部品工業会

一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センター、日本信頼性学会

一般財団法人日本品質管理学会、株式会社日科技連出版社

不具合情報・技術情報から知識を一般化・体系化し、再発防止・未然防止に有効活用する SSM による構造化知識マネジメントは、多くの業種・企業で取り組まれています。導入企業では、製品や装置の設計、製造、工事、保守など様々な業務において SSM 知識を活用し、デザインレビュー、FMEA、チェックリスト運用などの強化を図り、業務品質を向上させています。また SSM を活用して製品安全や労働安全の活動を強化し、社会の安心安全を高める取り組みも広がっています。

今回のシンポジウムでは、SSM 知識を運用して製品不具合や労働災害を防ぐ全社的な活動を進めている具体的な取り組みをご紹介します。ぜひご参加ください！

※本シンポジウムは実践に重点を置いた内容となっています。事前に下記の書籍をお読みいただくと、一層効果的です。

『SSMによる構造化知識マネジメント－設計開発における不具合防止に役立つ知識の構築と活用－』（田村泰彦 著 日科技連出版社）

『JSQC 選書 第4巻 『トラブル未然防止のための知識の構造化－SSMによる設計・計画の質を高める知識マネジメント－』（田村泰彦 著 日本品質管理学会監修 日本規格協会）

※ライブ配信とは、ご参加いただく方の PC、タブレット、スマートフォン等でシンポジウムの様子を映像で視聴しながら参加していただく形式です。総合討論での質問方法、ライブ配信プラットフォーム、PC等の推奨環境など詳細は web サイトをご確認ください。

プログラム

時間	内容／講演者（敬称略）
13:30-13:40	オリエンテーション
13:40-15:40	事例講演 1： 「包装容器の開発・製造におけるSSM知識を活用した品質不具合未然防止活動」 古田 修一（大和製罐株式会社 取締役） 勝谷 貴洋（大和製罐株式会社 品質保証第1部 品質保証第1課 課長） 事例講演 2： 「SSMを活用した労働災害防止の取り組み」 村中 義章 （栗田工業株式会社 グループ生産本部 フィールドエンジニアリング部門 安全推進部） 事例講演 3： 「SSMを活用した全社的なトラブル知識基盤構築とその展開について」 多田 圭人 （日本精工株式会社 デジタル変革本部 エンジニアリングチェーン変革プロジェクトチーム 副主務）
15:40-16:10	特別解説：「SSM導入・定着のポイントと知識活用の最新動向」 長谷川 充（株式会社構造化知識研究所 シニアコンサルタント）
16:10-16:50	総合討論：全講演者 コーディネータ：田村 泰彦（株式会社構造化知識研究所 代表取締役）
16:50-17:00	まとめ

※プログラムは予定です。時間・講演内容・タイトルなど予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。

お問合せ先

日本科学技術連盟 品質経営推進センター SSMS 担当 TEL：03-5378-1213 E-mail：tqmsemi@juse.or.jp

お申込みは裏面をご利用頂くか、日科技連 HP・URL：http://www.juse.or.jp/ をご確認ください。

概要 (講演者敬称略)

事例講演 1 「包装容器の開発・製造における SSM 知識を活用した品質不具合未然防止活動」

古田 修一 (大和製罐株式会社 取締役)

勝谷 貴洋 (大和製罐株式会社 品質保証第 1 部 品質保証第 1 課 課長)

弊社では、飲料・食品等の各種包装容器の開発・製造・販売を行っている。その活動において開発の手戻りや、製造における品質面での不具合について、技術的な知見や過去トラブル情報として蓄積しているものの、体系立てて共有し活用できていなかった。そこで、開発や製造での不具合を未然に防止する仕組みとして、SSM の導入を進めている。本講演では、弊社における SSM 知識の作成と活用及び今後の展開について紹介する。

事例講演 2 「SSM を活用した労働災害防止の取り組み」

村中 義章 (栗田工業株式会社 グループ生産本部 フィールドエンジニアリング部門 安全推進部)

弊社では、半導体に使用する超純水などの製造装置 (水処理装置) を中心とした装置の設計・製造・施工を行っている。その製造・施工の過程において、労働災害が一定数発生しており、労働災害防止が急務となっている。過去の労働災害を調査したところ、半数以上が過去災害の繰り返し (再発) であることが分かった。そこで、SSM の特徴である「過去トラブルを再利用する」点に着眼し、エンジニアリング業界初の試みとして安全管理への SSM 導入を開始した。本講演では、その取り組みについて紹介する。

事例講演 3 「SSM を活用した全社的なトラブル知識基盤構築とその展開について」

多田 圭人 (日本精工株式会社 デジタル変革本部 エンジニアリングチェーン変革プロジェクトチーム 副主務)

弊社では、自動車や産業機械分野等、様々な領域にベアリング、ボールねじ等の製品を提供している。これまで、不具合情報を集約する社内システムは構築していたが、その再利用性に対して課題があり、また教訓情報のグローバル活用のニーズから 2021 年より SSM を導入した。弊社の SSM の特徴として、お客様への納入品質問題、市場品質問題等の設計・製造起因の様々な事案で広く SSM 化を実施し、グローバルで知識作成・活用を進めている。本講演ではこれらの取り組みと今後の展開について紹介する。

特別解説 「SSM 導入・定着のポイントと知識活用の最新動向」

長谷川 充 (株式会社構造化知識研究所 シニアコンサルタント)

総合討論 (全講演者)

コーディネータ: 田村 泰彦 (株式会社構造化知識研究所 代表取締役)

◆参加者特典のご案内◆

本シンポジウムの参加者特典として、日科技連主催「設計開発における不具合未然防止のための知識活用セミナー」を割引価格でご受講いただけます! 本特典は 3 名様 (シンポジウム参加者ご本人 + 2 名) までご利用可能、参加費: 一般 73,700 円 → 68,750 円、会員 66,000 円 → 61,050 円 (税込) が適用されます。シンポジウムとセットで、ぜひセミナーも貴社の取り組み推進にご活用ください。なお、本特典の対象は 2024 年度 第 2 回、2025 年 第 1 回のセミナーとなります。また、本特典のご利用にはシンポジウム当日に配付する専用申込書が必要となります。

◆お申込み先: セミナー受付グループ (FAX: 03-5378-1227 / regist@juse.or.jp / TEL: 03-5378-1222)

※No 欄は記入しないでください **第 16 回 知識構造化シンポジウム参加申込書** 2024 年 月 日

No	参加者名	所属事業所・部課・役職名	所在地/資料送付先	電話/E-mail
			【所在地】 〒 【資料送付先】 〒	TEL : E-mail :
			【所在地】 〒 【資料送付先】 〒	TEL : E-mail :

●連絡担当者様 (お申込み受付後「開催ご通知」をお送りする方)

会社名		事業所名		電話	
部課/ 役職名		ふりがな 担当者名		F A X	
所在地	(〒 -)		E-mail		
参加費	4,950 円 (税込) × 名 =		円		

※ご記入いただいた企業・組織及び個人情報は、参加申込み受付処理ならびに日科技連からのセミナー情報ご送付のために使用いたします。また、当該個人情報が必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理し、第三者に提供することはありません。なお、お申込みいただいた方には当連盟のセミナー・研究会・講演会等をご案内する場合がございます。また、その際、宛名データを外部に委託する場合がありますのであらかじめご了承ください。ただし、ご要請があればご案内を速やかに中止いたします。
※事前のキャンセル連絡がなく欠席された場合は、資料のご送付と引き替えに参加費を全額頂戴いたします。